

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【公開番号】特開2014-60463(P2014-60463A)

【公開日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-017

【出願番号】特願2014-940(P2014-940)

【国際特許分類】

H 0 1 C 3/12 (2006.01)

H 0 1 C 17/06 (2006.01)

【F I】

H 0 1 C 3/12

H 0 1 C 17/06 P

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月19日(2014.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上面および下面を有する板状の抵抗体と、この抵抗体の上記下面のみに直接接合され電氣的に導通する一対の電極と、上記抵抗体の上記下面のうち上記一対の電極の間の部分を覆う電極絶縁体とを備えているチップ抵抗器であって、

上記一対の電極間となる上記抵抗体の部分に抵抗値調整部が設けられており、かつ、上面に、絶縁性の接着層を介して上記抵抗体よりも厚みが大である絶縁性の補強材が接合されているとともに、上記電極絶縁体と上記接着層とは上記抵抗値調整部を介して接していることを特徴とする、チップ抵抗器。

【請求項 2】

上面および下面を有する板状の複数の抵抗体と、これら抵抗体の上記下面のみに直接接合された一対の電極と、上記抵抗体の上記下面のうち上記一対の電極の間の部分を覆う電極絶縁体とを備えているチップ抵抗器であって、

上記複数の抵抗体は、上記一対の電極が対向する方向に対して直交する方向に並んでおりとともに、上記一対の電極間となる上記抵抗体のそれぞれの部分に抵抗値調整部が設けられており、かつ、上記上面全体に、絶縁性の接着層を介して上記抵抗体よりも厚みが大である絶縁性の補強材が接合されているとともに、上記電極絶縁体と上記接着層とは上記抵抗値調整部を介して接していることを特徴とする、チップ抵抗器。

【請求項 3】

上記絶縁性の接着層の面積は、上記抵抗体の上記下面側からの平面視において上記抵抗体の面積より大である、請求項 1 または 2 に記載のチップ抵抗器。

【請求項 4】

上記絶縁性の接着層は、ガラス繊維を含んでいる、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載のチップ抵抗器。

【請求項 5】

上記絶縁性の接着層は、上記補強材の端部と面一とされた端部を有する、請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のチップ抵抗器。